

公益社団法人美作市シルバー人材センター

令和3年度事業計画

I 基本方針

我が国の総人口は前年に比べ減少している一方で65歳以上の高齢者は前年より増加し過去最多となり、総人口に占める高齢者人口の割合は、今後も上昇を続けるであろうと見込まれ、65歳以上の高齢者人口と現役世代人口の比率は昭和25（1950）年には1人の高齢者に対して12.1人の現役世代がいたのに対し、平成28（2016）年には2.2人となり、その49年後の2065年には1.3人で1人の高齢者を支えると推測され、長期の人口減少過程に入っており、益々少子高齢化が進行しております。こうした状況の中、令和3年度の美作市シルバー人材センターは、社団法人から公益社団法人へと移行し10年目に入り、10月には設立15周年を迎える年となります。これまでの実績により地域の期待と信頼を得ていると感じております。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症により事業活動にも影響が出ると考えられますが、コロナ禍の状況に対応し、益々の地域社会の期待に応え、社会参加への意欲ある健康な高齢者が、今まで培った豊かな知識・経験・能力を活かし、自らの生きがいの充実や健康の増進を図るとともに地域の活性化に寄与することを基本方針とし、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、役職員及び会員が一体となって、事業運営の充実・拡大に努めてまいります。

II 事業実施計画

1 普及啓発活動の実施

シルバー人材センター事業の理念・目的・事業内容等の理解が得られるよう、一般市民や事業所、地方公共団体等に対し会員の入会促進と受託業務の拡大を図るため、普及啓発・広報活動を積極的に展開します。

- (1)ホームページを活用し、地域から離れた方にも広報を行います。
- (2)市・社会福祉協議会の広報誌、告知放送、ケーブルテレビ等の積極的活用を行う一方、会員一人ひとりが、発注者の満足度を高め信頼関係を作り、リピーターを増やすことで就業開拓に繋げるよう努めます。
- (3)スーパーの店頭や地域のイベント（祭りなど）へ参加しパンフレット等の配布及び地域企業や一般家庭へ訪問しパンフレット等の設置、配布を行います。
- (4)公共施設等への奉仕活動を通じて普及活動を行います。

2 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」をモットーに重篤事故ゼロを目標に、平成 30 年度安全委員会で定められた「安全ルール」を遵守し、安全就業パトロール巡回指導や講習会を実施し、安全意識の向上と健康管理意識を高め、適正就業の推進、また就業率の向上の見地から、可能な限り就業のローテーション化に取り組みます。

3 派遣事業の推進

適正就業の推進から請負・委託では出来なかった指揮命令がある企業等へ派遣事業の推進を行います。

4 会員拡充と就業機会の開拓・提供業務の推進

(1) 市や社会福祉協議会の広報誌への掲載、スーパーの店頭やイベントへ参加しパンフレットを配布、入会説明会を兼ねた講習会の開催又会員の「一人一声加入運動」などによる友人知人への呼びかけ等により定年を迎えたシルバー世代の会員募集を積極的に行い、新規会員の増員を目指します。

(2) 会員の就業ニーズに対応した就業機会を提供することで、会員確保を図ります。

(3) 臨時的かつ短期的な業務等へ雇用・就業を希望する一般求職者や会員等を対象とした派遣事業や職業紹介事業を実施します。

(4) 生活支援・介護支援の業務の要望が増えていくことが予想されることから、特に女性会員の増員を目指していきます。

5 会員への技術等の付与

多様な利用者のニーズに対応するため、会員に業務遂行に必要な技能、知識等を付与する講習会等を適宜開催します。

6 令和 3 年度の就業機会の目標数

(1)就業実人員	262 名	(2)就業率	87.5%
(3)就業延人員	17,700 人日	(4)受注件数	2,570 件
(5)契約金額	103,750 千円	(6)年度末会員数	300 名